

第3学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
3年1組 35名

1. 単元名 「すすめ!大豆探検隊」

2. 本時のねらい

探究的な学習の過程において、よりおいしいきな粉を作るための方法を考え、課題解決する学習のよさや、新たな課題を見付けるようにする。

3. 教師の願い

- おいしいきな粉を作りたいという思いをもち、探究してきたことをきな粉作りに生かしてほしい。
- 友達とすすんで関わってほしい。

4. 前時の様子

1, 2回目のきな粉作りの振り返りから改善点を見付け、3回目のきな粉作りを行った。味、香り、食感、見た目の観点から、より市販のきな粉に近付くようにグループで協力しながら取り組んだ。

5. 本時の展開 (24/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等 評…評価
もっとおいしいきな粉を作るための方法を考え、調理計画を立てる。	
1. 本時でやることを確認する。 C: 3回目のきな粉はおいしくできた。 C: どこがよかったのか考えよう。	○見通しをもって計画的に取り組むように声掛けをする。
2. 1, 2回目と比べてどこがどう変化したのか分析する。 C: 煎る時間を長くしたことで、香りが強くなった。 C: すり鉢の使い方にも慣れてきて、細かく碎けるようになった。 C: ふるうことで細かいきな粉が取り出せる。	○2回目の振り返りの数値を参考にするよう声掛けする。 ○活動を想起できるように、写真を用意しておく。
3. 4回目のきな粉作りに向けて、市販のきな粉と見た目や香りを比べながら、改善点を話し合う。 C: 煎る時間を15分にしてみよう。 C: 火の強さをもっと弱くしよう。 C: 碎くときの量は少ない方がやりやすいな。	○市販のきな粉を用意し、全員の基準が合うようにする。 ○これまでの活動を振り返りながら行うように促す。
4. 全体で共有する。	○他の班がどのように過程を考えているのか、情報を共有してもよいことを伝える。 評 自分が探究したことを生かしてきな粉を作るために、自分なりに考えながら活動している。 【思・判・表】(観察・ロイロノート)
5. 本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。 C: 売っているきな粉にもっと近づけるぞ。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。